

共立女大家政 柏木 希介

1. 草木染の内最も古くから知られている茜染はその化学分析に基づいたデータがなく、又日本茜・中国茜・西洋茜の染色上の相違に不明の点が多いのでそれらについて研究した。

2. 日本茜・中国茜については NMR 赤外線吸収スペクトル、元素分析の結果などから非常に近縁で西洋茜と全く違う。染められた絹布の色の解析なども行ってその相違について追求する。染色堅牢性についても実験した。

3. 植物色素プソイドプルプリン・アリザリンを主体とする西洋茜とプルプリン・ムンヂスチンを主体とする東洋茜の染織からみた差がはっきりした。